



**CoSTEP**

北海道大学  
科学技術コミュニケーター養成プログラム

**受講生募集要項**

**北大院生用**

2025年度

北海道大学 大学院教育推進機構  
オープンエデュケーションセンター  
科学技術コミュニケーション教育研究部門

2025年3月19日

# 目次

## 1 募集要項

1.1	プログラムの趣旨	1
1.2	求める人材像	1
1.3	受講資格	1
1.4	履修コース	1
1.5	修了要件と評価基準	2
1.6	単位の授与	2
1.7	募集人員	2
1.8	開講期間	2
1.9	受講申込みの方法	3
1.10	選考方法	3
1.11	選考結果の発表	4
1.12	受講料	4
1.13	受講の方法	4

## 2 履修科目

2.1	本科の授業	6
2.2	講義	7
2.3	演習	8
2.4	実践演習	9
2.5	選科の授業	11
2.6	講義	12
2.7	集中演習	13
2.8	選択演習・選択実践演習	14

## 3 修了要件

3.1	各科目の修得要件および CoSTEP の修了要件	15
3.2	開講科目一覧表	16

## 4 受講説明会

17

## 5 開講・修了特別プログラム

5.1	開講特別プログラム	17
5.2	修了特別プログラム	18

## 6 問い合わせ先

18

# 1 募集要項

## 1.1 プログラムの趣旨

科学技術に関することからについて、異なる価値観を持つ人びとをつなげる入り口の役割を担うのが科学技術コミュニケーターです。今日、大学や研究機関のみならず社会のあらゆる場面で、このような人材が必要とされています。科学技術コミュニケーター養成プログラム(以下「CoSTEP」)は、こうした社会ニーズに応え、科学技術をめぐる社会的諸課題について円滑なコミュニケーションを実現できる人材を養成します。

## 1.2 求める人材像

CoSTEP での学びをもとに、将来にわたって継続的に科学技術コミュニケーション活動を行っていくという意欲に溢れる方を募集します。科学技術コミュニケーション活動は、大学や科学館など既存の組織・機関に関係するものに限りません。多様なメディアを使った情報発信、地域の人々のサークルを通してのコミュニケーション活動など、様々なタイプの独創的な活動を含みます。

## 1.3 受講資格

CoSTEP (コーステップ) を受講できるのは、次の2つのうちどちらかの要件を満たした方です。

1. 北海道大学の大学院に在籍する正規学生
  2. 北海道大学に限らず、大学卒業と同等のリテラシーを有する方
- ※ 文系・理系、年齢、職業などは問いません。
  - ※ かつて CoSTEP を修了した方の応募を妨げるものではありません。

## 1.4 履修コース

CoSTEP には「本科」と「選科」があり、いずれか一方を選択して履修します。

**本科** 北海道大学札幌キャンパスに通うことができる方を対象としたコースです。

科学技術コミュニケーターとして、自らが中心となって様々な科学技術コミュニケーション活動を企画・実施できる総合的な知識とスキルを習得します。講義4科目、演習2科目、および実践演習1科目を受講します。科目名や単位相当数などの詳細は、「3. 修了要件」をご参照ください。また、各科目のスケジュールおよび概要については6～9頁をご覧ください。

**選科** 北海道大学札幌キャンパスに通うことが難しい方を対象としたコースです。

科学技術コミュニケーターとしての基礎的な知識とスキルを習得します。講義4科目および集中演習1科目(A、B、またはC)を必修科目として、選択演習・選択実践演習から1科目を選択必修科目として受講します。講義はe-learning受講が可能ですが、集中演習は北海道大学札幌キャンパスにて3日間にわたり対面で実施します。ただし、状況に応じてオンライン開催に切り替える場合があります。科目名や単位相当数などの詳細は、「3. 修了要件」をご参照ください。また、各科目のスケジュールおよび概要については11～14頁をご覧ください。

## 1.5 修了要件と評価基準

修了するためには、必修科目を当年度開講期間中にすべて修得する必要があります。修了要件（15～16頁参照）を満たした方は科学技術コミュニケーター養成プログラムを修了したと認め、北海道大学所定の「修了証」を授与します<sup>1</sup>。開講科目のうち、「大学院共通授業科目」については北海道大学の正規科目の基準と方法により成績評価を行います<sup>2</sup>。CoSTEP独自の「履修証明プログラム講習科目」については、CoSTEPが定める基準により成績評価をします（15頁参照）。

- ※ 北海道大学 EXEX 博士人材フェローシップの採用選考にあたっては、CoSTEP の受講生・修了生であることがプラスに評価されます。

## 1.6 単位の授与

CoSTEP は学生と社会人が共に学ぶことのできる履修証明プログラムですが、北海道大学に在籍する大学院生に対しては、一部の講義を「大学院共通授業科目」として開講します。修得した方には北海道大学の単位を授与します<sup>3</sup>。

## 1.7 募集人員

- 本科 20～30名
- 選科 50～70名

## 1.8 開講期間

2025年5月10日（土）～2026年3月7日（土）

2025年5月10日（土）、11日（日）には、開講特別プログラムがあります。

2026年3月7日（土）には、修了特別プログラムがあります。（17～18頁参照）

---

<sup>1</sup> 北海道大学に在籍する大学院生が履修する場合を除き、北海道大学の授業科目の単位を授与するものではありません。

<sup>2</sup> 「大学院共通授業科目」の単位授与を希望される場合は、本プログラムの受講申込とは別に科目等履修生の入学手続きが必要となります。

<sup>3</sup> 北海道大学に在籍する大学院生以外の方は応募条件が異なりますので、必ず募集要項「一般用」をご覧ください。

## 1.9 受講申込みの方法

- 申込みの受付期間

受講生の募集を、下記のとおり行います。

2025年3月24日（月）～4月14日（月）＜正午締切＞

※ 第2次募集はありません。

- 申込みの方法

CoSTEP の受講申込みには、以下の2つの手続きが必要となります。

- 1 CoSTEP への受講申込み書類を提出

上記の申込み受付期間中に CoSTEP ウェブサイトから所定のフォームに入力して送信してください。記入されたメールアドレスに受付番号を返信します。このメールをもって、申込み書類を受け取ったことの確認とします。返信メールが届かないときは、CoSTEP 事務室 (costep\_office@ml.hokudai.ac.jp) までメールにてお問い合わせください。

- 2 北海道大学の大学院共通授業科目の履修登録

北海道大学のシステムから履修登録が必要となります。CoSTEP への応募時に、必ず「3. 修了要件」に記載の大学院共通授業科目すべてについて履修登録をしてください。

- ※ 申込みに際しては、「本科」か「選科」を選択してください。
- ※ 本科を希望する方は、選科に併願できます（本科を第一希望として選考します）。
- ※ 受付番号は、面接や合格の通知に利用しますので、大切に保管してください。
- ※ 履修登録が完了していない場合、CoSTEP を受講できませんのでご注意ください。

## 1.10 選考方法

### 本科

本科は、書類と面接の2段階で選考します。

書類選考を通過した方については、面接を下記のとおり行います。

### 面接

2025年4月19日（土）～4月20日（日）

※ 申込み時に、面接の希望日時等をフォームに記入していただきます。

### 選科

選科は、書類のみにより選考します。

## 1.11 選考結果の発表

### 本科

CoSTEP ウェブサイトで、書類選考を通過した方の申込み番号および面接日時を発表します。

**書類選考結果の発表 2025年4月16日（水）**

CoSTEP ウェブサイトで、合格者の申込み受付番号を発表します。

**合格者の発表 2025年4月22日（火）**

### 選科

CoSTEP ウェブサイトで、合格者の申込み受付番号を発表します。

**合格者の発表 2025年4月22日（火）**

## 1.12 受講料

各コースの年間受講料は、以下のとおりです<sup>4,5</sup>

本科	74,000 円
選科	74,000 円

※ このほか、必要に応じて受講料以外の実費をお支払いいただきます。

## 1.13 受講の方法

講義（7もしくは12頁参照）は、対面またはオンラインで実施します。演習と実践演習（8、9もしくは14頁参照）は、基本対面で実施します。ただし、状況に応じてオンラインに切り替えます。その際は1か月前を目安に判断しお知らせしますが、直前でも必要に応じてオンライン形式に切り替えることがあります<sup>6</sup>。なお、講義は後日受講生専用ウェブサイトから e-learning 視聴することができます。授業科目だけでなく、CoSTEP での活動を記録した映像についても受講生専用ウェブサイトから自由に視聴できます。受講生専用ウェブサイトはパソコンだけでなくスマートフォンやタブレットでも視聴可能です。

---

<sup>4</sup> CoSTEP は、文部科学省が定める職業実践力育成プログラム（BP）、および厚生労働省が定める教育訓練給付の対象講座に認定されています。受講料の給付制度がありますので、受講説明会での説明、またはウェブサイトにて手続き等をご参照ください。

<sup>5</sup> 一般の方は、募集要項「一般用」をご確認ください。また、科目等履修生として本プログラムの講義科目を受講する方が、本プログラムを受講する場合の受講料の額については表記の額から減額されることがありますので、お問い合わせください。

<sup>6</sup> 交通費や宿泊費については、キャンセル料も含めて CoSTEP では一切負担・補償できませんのでご了承ください。

2 履修科目

本科

## 2 履修科目

### 2.1 本科の授業

本科の授業内容は、以下の通りです。科学技術コミュニケーションを体系的に学ぶ「講義」、幅広く知識とスキルを習得する「演習」、社会における実践を通して専門性と実行力を身につける「実践演習」の3つの柱からなります。すべて必修科目です。対応する科目名と修了要件については16頁を、各科目の詳細については「2.2 講義」「2.3 演習」「2.4 実践演習」を参照してください。詳細なスケジュールについては、受講生専用ウェブサイトで随時お知らせします。

授業の種類	スケジュール	備考
講義	原則として土曜日 13:00～14:30 ※ 初回は5/11（日）	教室またはオンラインで受講。12回まではe-learningでの受講も可。
演習	原則として水曜日 18:30～20:00 ※ 初回は5/14（水）	週末などに集中的に実施する場合があります。
実践演習	原則として土曜日 10:00～12:00 ※ 初回は5/17（土）	必要に応じて既定の時間外に作業をする場合があります。

※ 詳しい修了要件については、「3 修了要件」をご参照ください。



## 2.2 講義

講義は本科・選科共通です。講義は対面またはオンラインで開催されます。受講生はこれらを自由に視聴できるほか、前年度および前々年度の講義の一部を視聴できる講義アーカイブも用意されています。

### 講義の科目

- 科学技術コミュニケーションの入り口 =大学院共通授業科目=

科学技術コミュニケーションを多角的観点で考える講義およびパターンランゲージ形式で科学技術コミュニケーターの知識を学ぶワークショップを実施し、科学技術コミュニケーションを学ぶためのレディネスを鍛えます。

- 科学技術コミュニケーションの基礎 =大学院共通授業科目=

科学技術コミュニケーションを行うのに必要な諸概念を学び、社会における科学技術コミュニケーターの望ましいあり方の全体像を展望し、科学技術コミュニケーターの役割を連続した複数の講義を通して学びます。次に、科学技術コミュニケーターとして必要な、様々な表現とコミュニケーションの手法について、各メディアに特化した情報伝達の特徴などを組み合わせて学んでいきます。最後に、自身の科学技術コミュニケーション活動を立案・実践するために必要なデザインについて、連続した複数の講義を通して学びます。

- 科学技術コミュニケーションの実践の知恵 =大学院共通授業科目=

科学技術コミュニケーションは文脈や対象によってその活動の目的も、コミュニケーションの手法も異なります。そのような科学技術コミュニケーション活動の多様性を理解するため、本講義では、科学技術と社会との接点に生じる問題の具体的な事例を通して、それらの問題がもつ多面的かつ複雑な構造について適切に理解する思考力を、連続した複数の講義を通して身につけます。その後、科学技術コミュニケーターが多様な立場の個人や組織と連携する際に理解しておくべき、科学技術コミュニケーションに関わる主要なステークホルダーの立場について学んでいきます。後半には、講義修了後の実践活動につなげていくため、社会の中で科学技術コミュニケーションの領域を意欲的に開拓しているロールモデルを通して、科学技術コミュニケーターのキャリア、活動の背景、現状、課題、原動力、将来の目標などについて自らの活動に引きつけて学びます。

- アートで現代を考える =大学院共通授業科目=

現在活動しているアーティストの表現を軸に、科学技術と社会の問題をアートの観点から考察します。現代社会を読み解く手法としての現代アートを理解し、自分ならではの鑑賞法を発見することを目指します。

## 2.3 演習

修了にあたり、すべての科目を修める必要があります。演習は、本科受講生のみを対象とします。内容、スケジュール等はその都度お知らせします。科目によっては、希望者の状況により人数制限を設ける場合があります。いずれも原則として対面で実施します。

### 演習の科目

#### ● 科学技術コミュニケーション演習Ⅰ =大学院共通授業科目=

科学技術の先端的な知識を正確に中立的に発信し、多様な立場のステークホルダーと科学技術の諸問題について語り合うためのスキルを身につけます。以下の内容を予定しています。

- ・インタビュー
- ・ライティング
- ・ファシリテーション
- ・データ表現

#### ● 科学技術コミュニケーション演習Ⅱ =大学院共通授業科目=

科学技術の先端的な知識をわかりやすく、非専門の受け手にも届きやすい形で伝える技術を身につけます。以下の内容を予定しています。

- ・プレゼンテーション
- ・グラフィックデザイン
- ・グラフィカルアブストラクト

## 2.4 実践演習

実践演習は、本科受講生のみを対象とします。以下の3つの科目から1つを履修します（受講申込みの際に希望の科目を申告していただきます）。ただし、希望者の状況により実践演習の枠組みが変更になる可能性があります。

### 実践演習の科目

#### CoSTEP 実践演習 対話の場の創造 =履修証明プログラム=

科学技術コミュニケーションに関する対話型イベントの企画、準備、運営、評価の知識とスキル、イベントの記録や広報ならびにマインドセットを学びます。また、チームビルディング、リーダーシップ、ファシリテーション、プロジェクトマネジメントについても実践的に学ぶことができます。

「サイエンス・カフェ札幌」と、これとは異なるスタイルの対話型イベントを、企画・実施します。企画（テーマの決定、ゲストの選定・交渉、参加者層の想定等）の大まかな出発点は教員の方で準備しますが、それに基づくプログラムの具体化、実施準備、実施、評価まで、受講生が主体的に取り組みます。また、その際、ライティングや地域イベントとのコラボレーションにも取り組みます。

#### CoSTEP 実践演習 ライティング・編集 =履修証明プログラム=

ライティングの基礎を学びつつ、科学技術・学術に関わる題材について、専門家と非専門家間のコミュニケーションを促進するための文章力を身につけます。また企画、取材、執筆のほか、訴求力の高い発信をするための編集の基礎的スキルについて習得を目指します。

外来生物と環境や人との関係などをフィールドワークやインタビューを通して記事にします。また、北大の研究者等に取材して記事にします。アウトプットは、北大を紹介する広報ウェブサイト「いいね！Hokudai」に掲載する場合があります。その他、読むこと・書くことに関連するワークを積極的に行っていきます。

#### CoSTEP 実践演習 グラフィックデザイン =履修証明プログラム=

サイエンスビジュアル化の考え方と手法を、実践を通して学びます。科学技術に関するテーマやコンセプトを過不足なく表現するためのコミュニケーションスキル（テーマに合ったモチーフや色の選び方、レイアウト、イラストレーション、写真の撮影・加工など）を身につけます。Adobeソフトを使いますが、使用経験は必須ではありません。  
※必要に応じて、ソフトを購入していただく場合があります。

1. サイエンス・カフェ札幌をはじめ、CoSTEPが主催するサイエンスイベントの広報媒体（チラシ、ポスター、バナーなど）のデザインのほか、パンフレットやグッズのデザインを行います。
2. グラフィックデザインを使ったリスクコミュニケーションに挑戦します。札幌市の都市公園と連携し、人獣共通感染症であるエキノコックス症についての情報共有・教育コンテンツを制作します。

2 履修科目

選科

## 2 履修科目

### 2.5 選科の授業

選科の授業内容は、以下の通りです。科学技術コミュニケーションを体系的に学ぶ「講義」、短期間で集中的にサイエンスイベントやライティング、インフォグラフィックの力を身につける「集中演習」の2つの必修科目があります。それ以外に、選択必修科目があります。対応する科目名と修了要件については「3.2 修了要件」を、各科目の詳細については「2.6 講義」「2.7 集中演習」「2.8 選択演習・選択実践演習」を参照してください。

授業の種類	スケジュール	備考
講義	原則として土曜日 13:00～14:30 ※初回は5/11（日）	教室、オンライン、 またはe-learningで受講。
集中演習 A (サイエンスイベント企画運営)	7/19（土）～21（月・祝）の3日間 ※この日程以外にも必要に応じて グループ内での打ち合わせがあります。	
集中演習 B (サイエンスライティング)	9/13（土）～15（月・祝）の3日間 ※この日程以外にも事前学習のための 時間があります。	A、B、またはCを 受講申込み時に選択。
集中演習 C (インフォグラフィック制作)	10/11（土）～13（月・祝）の3日間 ※この日程以外にも事前学習のための 時間があります。	
選択演習	受講生専用ウェブサイトからお知らせします。	開講時に選択。
選択実践演習	受講生専用ウェブサイトからお知らせします。	開講時に選択。

※ 詳しい修了要件については、「3 修了要件」をご参照ください。

## 2.6 講義

講義は本科・選科共通です。講義は対面またはオンラインで開催されます。受講生はこれらを自由に視聴できるほか、前年度および前々年度の講義の一部を視聴できる講義アーカイブも用意されています。

### 講義の科目

- 科学技術コミュニケーションの入り口 =大学院共通授業科目=

科学技術コミュニケーションを多角的観点で考える講義およびパターンランゲージ形式で科学技術コミュニケーターの知識を学ぶワークショップを実施し、科学技術コミュニケーションを学ぶためのレディネスを鍛えます。

- 科学技術コミュニケーションの基礎 =大学院共通授業科目=

科学技術コミュニケーションを行うのに必要な諸概念を学び、社会における科学技術コミュニケーターの望ましいあり方の全体像を展望し、科学技術コミュニケーターの役割を連続した複数の講義を通して学びます。次に、科学技術コミュニケーターとして必要な、様々な表現とコミュニケーションの手法について、各メディアに特化した情報伝達の特徴などを組み合わせて学んでいきます。最後に、自身の科学技術コミュニケーション活動を立案・実践するために必要なデザインについて、連続した複数の講義を通して学びます。

- 科学技術コミュニケーションの実践の知恵 =大学院共通授業科目=

科学技術コミュニケーションは文脈や対象によってその活動の目的も、コミュニケーションの手法も異なります。そのような科学技術コミュニケーション活動の多様性を理解するため、本講義では、科学技術と社会との接点に生じる問題の具体的な事例を通して、それらの問題がもつ多面的かつ複雑な構造について適切に理解する思考力を、連続した複数の講義を通して身につけます。その後、科学技術コミュニケーターが多様な立場の個人や組織と連携する際に理解しておくべき、科学技術コミュニケーションに関わる主要なステークホルダーの立場について学んでいきます。後半には、講義修了後の実践活動につなげていくため、社会の中で科学技術コミュニケーションの領域を意欲的に開拓しているロールモデルを通して、科学技術コミュニケーターのキャリア、活動の背景、現状、課題、原動力、将来の目標などについて自らの活動に引きつけて学びます。

- アートで現代を考える =大学院共通授業科目=

現在活動しているアーティストの表現を軸に、科学技術と社会の問題をアートの観点から考察します。現代社会を読み解く手法としての現代アートを理解し、自分ならではの鑑賞法を発見することを目指します。

## 2.7 集中演習

集中演習は、選科受講生のみを対象としています。3つの集中演習のうち、いずれか1つを選択して履修します。詳細は次頁の表をご参照ください。いずれも3日間の集中演習と事前学習で構成され、北海道大学札幌キャンパスで仲間とともに集中的に学びます。

### 集中演習の科目

#### CoSTEP 集中演習 A サイエンスイベント企画運営 =履修証明プログラム=

サイエンス・カフェや各種のワークショップなど、参加・体験型イベントの企画者・進行役に求められる企画、プログラムデザイン、ファシリテーションなどのスキルを身につけます。

グループワーク上の問題を克服し、課題を達成するために、チームビルディング、リーダーシップ、短時間のプロジェクトマネジメントなどのスキルと態度を体験的に修得します。

数人ずつのグループに分かれて、科学技術に関連したテーマや科学技術コミュニケーションの方法論を持ち寄り、サイエンスイベントを企画・実施します。集中演習はグループワークが中心ですが、ミニレクチャーも実施し、イベント企画、実施に必要な知識を学びます。イベント実施においてはチラシやアンケートの作成も行います。最終日にはオンライン・サイエンスイベントを実施し、評価を受けてふりかえりを行い、学びを全員で共有します。受講生がそれぞれの学びを自己評価できるように、自ら学習目標を設定し、演習終了時に達成度を自己評価します。

#### CoSTEP 集中演習 B サイエンスライティング =履修証明プログラム=

本演習では「現在の課題・研究内容・ブレイクスルー」の要件を踏まえたストーリー性のある科学的文章を執筆できるようになることを目標としています。「読者を明確に想定する」、「文章の構成方法」などの基本的なライティングスキルや、「研究内容などを、誤解が生じないように読者に伝えるための文章作成」といった、サイエンスライティングのためのスキルを身につけることができます。

科学技術に関連したニュース・論文・書籍に基づき、短い記事を作成します。事前に草稿を執筆・提出し、演習期間内に各自が原稿を完成させます。集中演習では、インタビューワークやイメージを言語化して伝える「文章デッサン」など、ライティング全般のスキルアップにつながるレクチャーやワークを実施します。執筆の合間には、数人のグループに分かれ受講生同士のピアレビューや、教員の指導などを通して原稿の推敲を行います。

#### CoSTEP 集中演習 C インフォグラフィック制作 =履修証明プログラム=

本演習ではインフォグラフィック制作の基本的なスキルを身につけます。具体的には、自分が現在取り組んでいる科学技術コミュニケーションについて、初心者でも使えるオンライングラフィックデザインツールを用いて、テキストを含んだグラフィックコンテンツを制作します。

自分の活動を端的に要約し、視覚的に表現するためのグラフィックデザインのスキルと、活動内容や意義について社会から理解を得るための表現能力を身につけます。「短い時間で人を惹きつける」を目標に、分野外の人へのアウトリーチを意識したコンテンツ制作を目指します。

自分が現在取り組んでいる（あるいは取り組みたいと考えている）科学技術コミュニケーションについて、基本的知識がなくても（中学卒業程度でも）わかるように、テキストを含んだグラフィックコンテンツを制作します。事前に制作したいコンテンツ内容のテキストとラフ案を提出し、演習期間内に各自がインフォグラフィックを完成させます。演習では全体でのグラフィックコンテンツに関するレクチャーやワークを実施します。また、各自の制作は数人の班に分かれて行い、各班の担当教員が進捗状況の確認と情報の取捨選択のサポートをします。



## 2.8 選択演習・選択実践演習

選択演習および選択実践演習は、選科受講生を対象としています。選択演習と選択実践演習の中から1科目を選択します。内容、スケジュール等はその都度お知らせします。希望者の状況により人数制限を設ける場合があります。

### 選択演習の科目

- CoSTEP 選択演習 =履修証明プログラム=

科学技術コミュニケーションを実践する上で必要な知識を、オンライン演習を通して学びます。多角的な運用が必要なテーマについて、多角的な視点とそれを柔軟に運用する観点を参加者同士の議論を通して獲得します。以下の内容を予定しています。

- ・ファシリテーション
- ・SF プロトタイピング
- ・発見と表現

### 選択実践演習の科目

- CoSTEP 選択実践演習Ⅰ（映像） =履修証明プログラム=

身近なツールとなり、誰もが気軽に作れるようにもなった映像コンテンツ。ストーリーの作り方や映像文法の基礎を学ぶと、より効果的に自分のメッセージが伝えられるようになります。この授業では、独自の映像コンテンツを制作することで研究アウトリーチにつながる映像制作の手法を学びます。苫小牧研究林をフィールドとし、Adobe のソフトを活用します。今後、身近な機材を使って自分でコンテンツ作成ができるようになることを目指します。

- CoSTEP 選択実践演習Ⅱ（科学館・美術館） =履修証明プログラム=

科学館と美術館の特徴を理解し、展示の文法を知る機会を設けます。受講生同士の対話を通して展示でのメッセージを読み解き、科学技術コミュニケーションとつなげて考える力を身につけます。

※ 選科の受講生のみ受講可能。本科は参加可能ですが修了要件には入りません。

※ 受講・参加の際は、受講料以外の実費をお支払いいただきます。



## 3 修了要件

### 3.1 各科目の修得要件および CoSTEP の修了要件

各科目の修得要件は以下のとおりです。16 頁の「開講科目一覧表」と併せてご参照ください。開講科目のうち、「大学院共通授業科目」については北海道大学の正規科目の基準と方法により成績評価を行います。CoSTEP 独自の「履修証明プログラム講習科目」については、CoSTEP が定める基準により成績評価をします。これらを総合的に評価して、CoSTEP の修了の可否を決定します。

#### 本科

科目	区分	修得要件
講義	必修	① すべて受講 ② 所定の課題を提出 ※ 北海道大学の正規科目の基準により評価
演習	必修	① すべて受講 ② 所定の課題を提出 ※ 北海道大学の正規科目の基準により評価
実践演習	必修	① 3つのうち1つの実践演習について70%以上出席 ② 所定の実践課題を提出 ※ 要件①および②の達成状況をもとに総合的に判断

#### 選科

科目	区分	修得要件
講義	必修	① すべて受講 ② 所定の課題を提出 ※ 北海道大学の正規科目の基準により評価
集中演習	必修	A、B、または C の集中演習のすべての日程に出席
選択演習 選択実践演習	選択必修	① 選択必修科目の中から1科目を受講 ② 所定の課題を提出 ※ 要件①および②の達成状況をもとに総合的に判断

## 3.2 開講科目一覧表

### 本科

科目の分類	授業形態	科目名	科目の詳細	授業回数	時間数	単位相当数	区分	修了要件
大学院共通 授業科目	講義	科学技術コミュニケーションの入り口	開講式	2日間	12	1	必修 科目	必修科目13単位 相当を修得
	講義	科学技術コミュニケーションの基礎	モジュール1-3	15	22.5	2		
	講義	科学技術コミュニケーションの実践の知恵	モジュール4-6、修了式	14、1日間	22.5	2		
	講義	アートで現代を考える	アートで現代を考える	8	12	1		
	演習	科学技術コミュニケーション演習Ⅰ	インタビュー演習	2	12	1		
			ライティング演習	2				
			ファシリテーション演習	2				
			データ表現演習	2				
	演習	科学技術コミュニケーション演習Ⅱ	プレゼンテーション演習	3	12	1		
グラフィックデザイン演習			3					
グラフィカルアブストラクト演習			2					
履修証明 プログラム 講習科目	実践演習	CoSTEP実践演習	対話の場の創造実践演習	30 (2時間/回)	60	5		
			ライティング・編集実践演習					
			グラフィックデザイン実践演習					

### 選科

科目の分類	授業形態	科目名	科目の詳細	授業回数	時間	単位相当数	区分	修了要件
大学院共通 授業科目	講義	科学技術コミュニケーションの入り口	開講式	2日間	12	1	必修 科目	必修科目 10単位 相当を修得
	講義	科学技術コミュニケーションの基礎	モジュール1-3	15	22.5	2		
	講義	科学技術コミュニケーションの実践の知恵	モジュール4-6、修了式	14、1日間	22.5	2		
	講義	アートで現代を考える	アートで現代を考える	8	12	1		
履修証明 プログラム 講習科目	集中演習	CoSTEP集中演習	集中演習A	3日間	45	4	選択必修 科目	選択必修科目から 1単位相当を修得
			集中演習B					
			集中演習C					
	選択演習	CoSTEP選択演習	SFプロトタイピング演習	2	12	1		
			映像表現演習	2				
			発見と表現演習	2				
選択実践演習	CoSTEP選択実践演習Ⅰ (映像)	映像制作選択演習	2日間	12	1			
選択実践演習	CoSTEP選択実践演習Ⅱ (科学館・美術館)	科学館・美術館選択実践演習	2日間	12	1			

- ※ 各授業は1回につき1.5時間ですが、本科の実践演習については1回につき2時間を要します。
- ※ 北海道大学に在籍する大学院生には大学院共通授業科目の単位が授与されます。
- ※ 各科目の修得要件については15頁を参照してください。

## 4 受講説明会

以下の日程、会場にて 2025 年度 CoSTEP 受講説明会を開催します。

日時 2025 年 3 月 19 日 (水) 18:30 ~ 20:30 ※ 修了生による座談会あり  
会場 オンライン配信 (zoom ウェビナー)  
参加方法 CoSTEP ウェブサイト (<https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/>) にて公開の URL よりご参加ください。

※ 収録動画を CoSTEP ウェブサイトに公開します。  
受講説明会に参加、または収録動画をご視聴のうえでの申し込みを推奨します。

## 5 開講・修了特別プログラム

### 5.1 開講特別プログラム

開講特別プログラムは 2 日間にわたります<sup>7</sup>。

#### 1 日目

日時 2025 年 5 月 10 日 (土)  
会場 北海道大学 札幌キャンパス  
工学部フロンティア応用科学研究棟 2F レクチャーホール (鈴木章ホール) ほか

- 開講式
- 開講特別講義  
「語りえぬものを語り継ぐ～アートで省みる科学技術コミュニケーション～ (仮)」  
講師 藤井 光 氏 (アーティスト)
- 受講ガイダンス
- ウェルカムパーティ

#### 2 日目

日時 2025 年 5 月 11 日 (日)  
会場 北海道大学 札幌キャンパス  
工学部フロンティア応用科学研究棟 2F レクチャーホール (鈴木章ホール) ほか

- 講義  
大学院共通授業科目「科学技術コミュニケーションの入り口」第 1 回  
講師 奥本 素子 (北海道大学 CoSTEP 部門長 / 大学院推進機構 准教授)
- オープニングワークショップ

※ 開講特別講義および講義 (大学院共通授業科目「科学技術コミュニケーションの入り口」) は必修です。

※ 開講特別講義、受講ガイダンス、講義 (大学院共通授業科目「科学技術コミュニケーションの入り口」) については受講生専用ウェブサイトからオンデマンド配信されますので、都合により当日出席できない場合は e-learning での受講が可能です。

<sup>7</sup> 状況に応じてオンラインへの切り替え、プログラムを一部変更する場合があります。詳しくは、CoSTEP ウェブサイトならびに受講生専用ウェブサイトにて随時お知らせします (<https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/>)。

## 5.2 修了特別プログラム

修了特別プログラムは以下のとおり、終日行います<sup>8</sup>。

日時 2026年3月7日(土)

- 成果発表会  
1年間の学びの成果を、本科の各実践演習、選科の各集中演習ごとに、ステージおよびポスターで発表します。
- 修了特別講義
- 修了式  
修了要件を満たした方に修了証を授与します。

※ 成果発表会および修了特別講義については、収録動画を受講生専用ウェブサイトからオンデマンド配信しますので、当日出席できない場合は e-learning での受講が可能です。

## 5 問い合わせ先

住所 〒060-0817  
北海道札幌市北区北17条西8丁目  
北海道大学高等教育推進機構 N163A CoSTEP 事務室

電話 011-706-5320  
e-mail [costep\\_office@ml.hokudai.ac.jp](mailto:costep_office@ml.hokudai.ac.jp)

※ お問い合わせは、できるだけ e-mail でお願いします。

---

<sup>8</sup> 状況に応じてオンラインへの切り替え、プログラムを一部変更する場合があります。詳しくは、CoSTEP ウェブサイトならびに受講生専用ウェブサイトにて随時お知らせします (<https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp>)。





**Communication in  
Science & Technology  
Education & Research Program**